

庄内町立図書館だより

よめっちゃん



2015.10.27(No.7)

決定!

山形県図書館大賞!

～山形県図書館大賞とは?～

県内の全図書館の職員が投票して決めた賞です。今回のテーマは「秋の夜長にしみじみと味わって読みたい大人の小説」。

「新徴組」(佐藤賢一)「坂の上の雲」(司馬遼太郎)「蝉しぐれ」「花のあと」(藤沢周平)「図書館戦争」(有川浩)「ノルウェイの森」(村上春樹)など、全36作品が選ばれました。

受賞一覧は館内に掲示しています。

ほとんどの本は当館で所蔵していますので、気になる本があったら読んでみてくださいね!

図書館カレンダー ★開館時間

⇒休館日

平日 午前9:00～午後6:00

土日 午前9:00～午後5:00

11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

11/8(日)まで10冊貸出
ご利用ください♪

12月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

おはなしらんどポップコーンの「おはなし会」

11/18(水)10時～ 町立図書館ホール

12/16(水)10時～ 余目第一公民館 で開催!

どなたでもお気軽にご参加ください(*^^*)

探してみよう! その2 「図書館の自由に関する宣言」

10/10(土)より公開の映画「図書館戦争 THE LAST MISSION」ご覧になりましたか? 岡田准一 がかっこいいですね。それはさておき、この話はタイトルの通り図書館が舞台になっています。核となる設定は「公序良俗を乱し、人権を侵害する表現を取り締まる法律として『メディア良化法』が成立・施行された」日本。こんな法律がもし成立したらと考えると恐ろしいですね。しかし図書館は、「図書館の自由に関する宣言」において、検閲に反対するということを明記しています。また「資料収集の自由」「資料提供の自由」を有することも宣言に盛り込まれています。

前置きが長くなりましたが、この「図書館の自由に関する宣言」は実在していて、もちろん当図書館にも掲示されています! ちょっと分かりにくい場所にありますが、探してみてくださいね。

図書館の自由に関する宣言 1979年改訂(本文)

図書館は、基本的人權のひとつとして知る自由をもつ国民に、資料と施設を提供することと、もっとも重要な任務とする。

この任務を果たすため、図書館は次のことを確立し実践する。

- 第1 図書館は資料収集の自由を有する。
- 第2 図書館は資料提供の自由を有する。
- 第3 図書館は利用者の秘密を守る。
- 第4 図書館はすべての検閲に反対する。

図書館の自由が侵されること、おそれられ、あくまで自由を守る。

社団法人 日本図書館協会

庄内町立図書館にはこの映画の原作となった「図書館戦争」シリーズ4冊、別冊図書館戦争(ベタ甘注意)、シリーズ2作目「図書館内乱」に登場した「レインツリーの国」(この本のみ分館にあります)を所蔵しています。映画を観る前、観た後、秋の夜長のお供にこれらの本を手にとられてみてはいかがでしょうか? 貸出し中の場合は予約もできますので、ご利用ください♪



スマホ用 QR コード

お問い合わせ 図書館・内藤秀因水彩画記念館

43-3039

分館 56-3308



読書の秋！

職員おすすめの コミックエッセイ

芸術の秋！

スッキリ！

上大岡トメ/著(幻冬舎)

毎日なんだかんだと忙しいけど、時間がなくてもひとつだけでもスッキリしたいあなたにおすすめ。身の回りから…頭の中から…心の中から…カラダから…スッキリ！ちなみに私はカラダから「腹筋を毎日やってみる」たった5分間で余分なものをそぎおとそう。いろんなことが、自分になんとかあてはまる。

1ページでも気軽に読め、チャレンジできる気持ちになればしめたもの！あなたは、どんなことでスッキリさせますか？



わたしのうちには、なんにもない。

ゆるりまい/著(KADOKAWA)

我が家のリビングの一角が片付いたのはこの本のおかげ！いつか使えるかも、思い出のモノだし…という自分の中の「捨てられない」の壁を超えるために背中を押してくれる1冊です。

片付いてスッキリするのがうれしくて、ゴミ袋に余裕があると「もっと捨てられるはず、いや何か捨てたい」と思うほどになりました。巻末、モノを選び抜いた著者のお気に入りの小物を眺めるのもまた楽しいです。



今日も朝からたまご焼き

森下えみこ/著(メディアファクトリー)

「お弁当毎日作ってるって、ちゃんとしてる感じがするよねえ～」と一念発起した28歳一人暮らしのOLみりさん。たまご焼きを作ろうとすればスクランブルエッグになり、気合いを入れてお弁当を作ればおはしを忘れる…。

弁当作りたくない…、そんな時に読めばちょっとやる気が出てくるかもしれない楽しい作品です。



今回は『広報しようない』10/20号との関連企画！おすすめのコミックエッセイを紹介します。

秋の夜長に本を読みたい！でも時間がない！という方に特におすすめの、短い時間で気軽に読めて役に立つコミックエッセイ。普段なじみのないジャンルを知るきっかけにもどうぞ♪

人生モグラたたき！

池田暁子/著(文藝春秋)

盆栽から初音ミクまで、著者が見た！聞いた！体験した！65の事柄を2頁マンガで綴る様子は、何が出てくるか分からない、まさにモグラたたき！

街を歩けば自称占い師に声を掛けられ、塾講師をすれば小学生のスロイ観察眼にタジタジ……。共感できるページが必ずあるはず！

分館所蔵の本ですが、本館に取り寄せもできますので、ご利用下さい。



チロルチョコで働いています

お菓子メーカーの舞台裏お見せします

伊藤フミ/著(KADOKAWA)

チロルチョコ株式会社の企画室ではたらく若手社員を主人公に、ひとつのチロルチョコが商品化されるまでを描いた物語です。

1粒2cm角の世界に、数々のひらめき、こだわりが詰まっています。いつも何気なく食べているおやつも、それに携わるたくさんの人々の奮闘によって生み出されているのだと思い出させてくれる1冊です。



こちらで紹介した本はすべて庄内町立図書館にございます。貸し出し中の場合は予約もできますので、お気軽にお問合せください◎